

# 群馬の畜産 みんなの情報室

第360号

発行日  
令和6年3月31日

発行:公益社団法人 群馬県畜産協会  
〒379-2147 前橋市亀里町1310 群馬県JAビル 3階/TEL:027-220-2371 FAX:027-220-2372  
ホームページ:https://www.chikusankyokai.or.jp

## 第55回理事会が開催されました

令和6年3月15日群馬県 JA ビルにおきまして、令和6年度の事業計画及び収支予算が承認されました。

### 1 事業計画

畜産経営の安定と畜産物の安定供給が図れるよう行政、中央団体、県内関係団体と連携し、各種の緊急対策を迅速に実施すると共に、引き続き、家畜・畜産物の価格安定対策をはじめ、経営支援、生産基盤の強化、家畜衛生、家畜改良、担い手の確保育成等の各種事業を実施して参ります。

また、家畜・畜産物の安全・安心を確保するため、生産者に対し、農場HACCP認証制度や畜産GAP制度の手法の活用を積極的に推進し、農場の飼養衛生管理技術の向上、安全で高品質な畜産物の生産に貢献するとともに、消費者に対する畜産への理解醸成事業を通じて、群馬県産畜産物の消費拡大に取り組みます。

民間としての機動性を活かし、細かな支援を実施する畜産専門機関として、畜種ごとに有機的な情報活用を図り、高い次元で対応する事務局体制を維持するとともに、法人経営、特色のある経営など、多様化する畜産経営に合った専門性の高いサービスを提供できる人材の育成に取り組みます。

さらに、これまで継続してきた事務の合理化や経費抑制についても引き続き実施して参ります。

なお、本計画にない新規取り組みについては、本会の事業目的に合致するものや、社会的情勢の変化などにより喫緊の対応が求められる場合については、事業計画に支障のない範囲において取り組むことといたします。



#### 【公益事業1】 畜産経営の安定向上を支援し安全で良質な畜産物の生産を促進する事業

##### (1) 畜産経営の安定を支援する事業

##### ア 肉用子牛の生産の安定に関する支援

肉用牛肥育経営への子牛の安定供給を進め、国産牛肉の安定した生産が継続して行われることを目的に、当協会と補給金の交付契約を締結した肉用牛繁殖経営者に対し、子牛の販売価格が国の定める基準価格を下回った場合に、その差額を補給金として交付します。

また、円滑な事業実施を図るため、事業参加者から制度実施に要する経費の一部を手数料として徴収し、肉用子牛生産者補給金制度の事業推進を図ります。〔実施予定事業数：2事業〕

## 目 次

第55回理事会が開催されました	1	優良繁殖雌牛更新加速化事業	8
肉用牛合同研修会の開催	4	地方競馬ミルクウィーク2024の開催について	8
和牛登録員研修会の開催	4	第50回 群馬県ブラックアンドホワイトショウ	9
家畜防疫・衛生指導対策事業に係る農場 HACCP 研修会	5	養豚現場研修報告(酪農中小家畜担当 遠藤さくら)	9
野生獣衛生対策促進事業に係る講習会	5	死亡牛の BSE 検査の対象が変更になります	10
馬飼養衛生管理技術地方講習会、馬飼養衛生基礎技術実習	6	価格安定事業発動状況、市況	11
種豚登録研修会の開催について、養豚基礎セミナーの開催について	7	みんなで行こう! ケイバ! 南関東4競馬場開催日程	12

#### イ 肉用牛肥育経営の安定に関する支援

肉用牛肥育経営の安定を図ることにより、国産牛肉の安定した生産が継続して行われることを目的に、肥育牛補てん金交付契約を締結した登録生産者に対し、独立行政法人農畜産業振興機構の調査により算出される肥育牛1頭当たりの標準的販売価格が、同じく算出される標準的生産費を下回った場合に、その差額の9割を交付金として交付します。また、円滑な事業実施を図るため、事業参加者から制度実施に要する経費の一部を手数料として徴収し、肉用牛肥育経営安定交付金制度の事業推進を図ります。〔実施予定事業数：3事業〕

#### ウ 養豚経営の安定に関する支援

養豚経営の安定を図ることにより、国産豚肉の安定した生産が継続して行われることを目的に、独立行政法人農畜産業振興機構が実施する肉豚経営安定交付金制度の登録生産者からの委託により、同制度等の事務推進を行います。〔実施予定事業数：1事業〕

#### (2) 畜産経営の向上を支援する事業

##### ア 地域の畜産経営への支援指導

畜産経営の高度化に必要な情報の提供や経営分析による指導、個人・法人等の多様なニーズに対応した経営指導を行います。また、既往負債の長期・低利な資金への借り換え計画作成とその計画達成のための指導、資金借入を希望する畜産経営体の経営ビジョンや経営計画作成、畜産女性経営者の育成、収益性・生産性を向上、労働時間の短縮を図るための機械導入等を支援するとともに、生産物の品質向上、生産情報管理・分析について指導します。

さらに、畜産経営者の経営実績の収集、経営指導活動の成果を把握するための調査、優れた畜産経営者や畜産振興に貢献している団体等の調査を行い、その結果の周知・普及を図ります。〔実施予定事業数：16事業〕

##### イ 畜産経営の人材確保と労力負担の軽減に関する支援

畜産経営に係る人材確保と労力負担の軽減を図るため、獣医学を専攻する大学生に対し、卒業後、群馬県内で産業動物獣医師として従事することを条件に修学のための資金を給付するとともに、県内の産業動物獣医師採用情報を収集・提供し、産業動物獣医師への就業と人材確保を支援します。

酪農ヘルパー利用組合が雇用等により確保している要員の確保・育成に必要な費用の一部補助、酪農従事者が病気、けが等により就業困難となってヘルパー利用が増加した場合の負担額の軽減のための互助基金の造成とその活用、ヘルパーの活動によって発生した財物の破損等を賠償する保険への加入促進と保険料の一部を補助します。また、経営者の高齢化等により継続が困難となる経営の第三者継承への支援、大規模化により雇用を必要としている畜産経営に対して、人材確保のための職業紹介や募集に必要な支援及び人員育成のための支援を行います。

さらに、畜産経営者等からの輸出相談に応じるための輸出相談窓口の設置と畜産物輸出に対する理解醸成や意識向上を図るための普及啓発資料の配布を実施します。〔実施予定事業数：11事業〕

#### (3) 家畜及び畜産物の安全性確保と理解醸成を図る事業

##### ア 畜産及び畜産物への理解醸成

消費者等に対し、畜産及び畜産物の安全性確保と理解醸成を図ることを目的に、畜産及び畜産物へ消費者を対象にした畜産及び畜産物に関する研修会や体験交流会の開催、山羊乳の消費に関する調査、検討を行うとともに、イベントにおける畜産物の栄養知識に関する啓発資料の作成・配布及び畜産物の無償配布、畜産堆肥の有機質肥料としての有用性に関する啓発資料の作成・配布などを通じて消費者の畜産への理解醸成及びリスクコミュニケーション確保のための活動を行います。

また、畜産の振興を担う地方競馬場において冠レースを開催し、畜産への理解醸成を図ります。

〔実施予定事業数：5事業〕

##### イ 家畜及び畜産物の安全性確保

消費者や生産者の信頼を確保するため、新たな基準により伝達性牛海綿状脳症（BSE）対策の有効性を監視する「死亡牛BSEサーベイランス」において、令和6年4月以降の実施に必要なBSE検査及び同検査の採材等に関して、検査促進費及び検体提供費の助成を行うほか、牛せき柱の適正な管理を実施した食肉処理業者に対し促進費を交付し、特定危険部位の適正管理の促進を図ります。〔実施予定事業数：2事業〕

##### ウ 家畜の悪性疾病による損失対策

悪性の家畜伝染病など、指定する疾病が発生した場合に、飼養する乳牛、肉牛、豚の淘汰した後、経営の再建を図ることを目的に、畜産経営者に対して事業内容の周知、事業への参加の呼びかけ、事業への参加手続等を支援します。

また、家畜疾病が発生した際、家畜の殺処分等を行った畜産経営体に対し、経営再開に必要な経費等を支援する互助金交付に必要な委員会を設置し、互助金交付単価の設定及び、再生産に向けた導入計画の認定等を行います。

〔実施予定事業数：2事業〕

工 農場の生産衛生の強化

清浄化が難しく伝播力が強いいため個別経営の取り組みだけでは十分な効果が得られにくい牛豚の伝染性疾病等の発生・流行を防止して畜産物生産の安定を図ることを目的に、検査、予防接種、生産衛生の強化に必要な費用の一部を補助します。また、豚熱(CSF)対策として野生イノシシへの経口ワクチン野外散布のための協議会運営事業を実施するほか、令和元年度に実施されたASF侵入防止緊急支援事業について、整備施設の利用・管理状況等についてのフォローアップを行います。〔実施予定事業数：3事業〕

オ 家畜の衛生管理の強化

家畜の衛生管理の強化、疾病の清浄化及び予防による畜産物の生産の安定を図ることを目的として、自衛防団体等が実施するワクチン接種の推進、豚熱(CSF)等の家畜伝染病発生時の対応等を円滑に行うための演習・研修の実施、農場HACCP認証、畜産GAPを普及するための構築支援体制の整備、調査・指導、野生獣の家畜に影響を及ぼす疾病の保有状況等についての調査、豚疾病防止のための獣医師による巡回指導、馬の飼養者等への衛生管理に関する調査・講習会、及び、ハチミツの安全性確保のための検査等について支援します。〔実施予定事業数：10事業〕

(4) 家畜の能力向上を促進する事業

家畜の能力向上を促進するため、家畜の血統登録の促進を図り、家畜改良の成果を競う群馬県畜産共進会、北海道で令和7年度に開催される第16回全日本ホルスタイン共進会、及び、令和9年度に開催される第13回全国和牛能力共進会の出品対策を実施します。また、和牛の高齢の繁殖雌牛から、増体や肉質に優れた若い繁殖雌牛への牛群転換の支援、優良繁殖和牛の作出・保留のためのゲノミック評価の活用推進のほか、乳用牛のSNP(スニップ)検査推進事業など、遺伝形質の評価を促進するための支援等を総合的に実施します。また、令和3年度の畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(生産基盤拡大加速化事業(肉用牛))において、取組主体(クラスター協議会)の構成員が設定した成果目標に対する達成状況のとりまとめ等を行います。〔実施予定事業数：15事業〕

【収益事業1】 畜産に関する収益事業

(1) 家畜登録団体からの業務受託に関する事業

家畜の血統登録を行う団体から業務の一部を受託し畜種ごとに定められた登録規程等に基づき、登録申し込みのあった家畜の個体の確認、体型・特徴の記録、DNA検査のための試料の採取、血統の確認、登録手続、登録料の代行収受、登録証の送付等の業務を行います。〔実施予定事業数：6事業〕【その他の事業

1】 畜産の振興を図る事業 (1) 畜産団体からの事務受託等に関する事業畜産生産者等を構成員とする団体からの委託を受け事務を行います。〔実施予定事業数：8事業〕

2 収支予算計画

令和6年度当初予算では、補助事業：19事業、助成事業：6事業、特別事業：5事業、受託事業：16事業、家畜登録事業：6事業、生産者事務受託団体からの事務委託を含めた事務受託事業：9事業、自主財源による事業：23事業の計84事業を実施します。

公益目的事業会計、収益等事業会計(畜産収益事業会計、畜産振興事業会計)、法人会計の各会計の総額は、経常収益1,757,788千円、経常費用1,767,546千円、税引前当期一般正味財産増減額は9,757千円の減少を見込んでいます。

直近の予算(令和5年度補正予算)と比較して、経常収益では、133,623千円(約8%)の増加、経常費用では、136,482千円(約8%)の増加を見込んでいます。

令和6年度当初予算では、インボイス制度の導入により、家畜登録事業の収益計上の方法を変更し、本会登録料に含まれる家畜登録団体へ支払う登録料をすべて預り金とし、家畜登録団体へ支払うこととし、家畜登録団体から本会への委託料を事業収益から委託料収益に計上することとしました。

各会計の一般正味財産の増減状況については収支予算書(損益)のとおりです。

収支予算書(損益)

法人全体 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで (令和6年度) 公益社団法人 群馬県畜産協会 (単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	[ 2,234,503 ]	[ 2,182,924 ]	[ 51,579 ]
受取会費	[ 15,265,000 ]	[ 15,265,000 ]	[ ]
事業収益	[ 70,293,076 ]	[ 94,379,771 ]	[ Δ 24,086,695 ]
受取補助金等	[ 1,236,188,885 ]	[ 1,093,197,631 ]	[ 142,991,254 ]
受取助成金	[ 31,203,780 ]	[ 30,495,000 ]	[ 708,780 ]
受取受託金	[ 24,462,740 ]	[ 24,197,087 ]	[ 265,653 ]
賦課金収益	[ 5,436,500 ]	[ 5,666,900 ]	[ Δ 230,400 ]
受取生産者負担金	[ 339,375,000 ]	[ 327,500,000 ]	[ 11,875,000 ]
受取負担金	[ 27,207,180 ]	[ 25,245,380 ]	[ 1,961,800 ]
受取寄付金	[ 1,097,900 ]	[ 775,500 ]	[ 322,400 ]
雑収益	[ 2,204,170 ]	[ 2,440,400 ]	[ Δ 236,230 ]
経常収益計	[ 1,757,788,734 ]	[ 1,624,165,593 ]	[ 133,623,141 ]
(2) 経常費用			
事業費	[ 1,760,334,339 ]	[ 1,624,484,949 ]	[ 135,849,390 ]
管理費	[ 7,211,301 ]	[ 6,578,150 ]	[ 633,151 ]
経常費用計	[ 1,767,545,640 ]	[ 1,631,063,099 ]	[ 136,482,541 ]
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
(2) 経常外費用			
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	[ 14,066,000 ]	[ 13,164,000 ]	[ 902,000 ]
受取積立金	[ 7,033,000 ]	[ 6,582,000 ]	[ 451,000 ]
受取生産者負担金	[ 494,000,000 ]	[ 403,500,000 ]	[ 90,500,000 ]
特定資産運用益	[ 1,636,055 ]	[ 1,518,739 ]	[ 117,316 ]
一般正味財産への振替額	[ Δ 347,590,788 ]	[ Δ 335,517,398 ]	[ Δ 12,073,390 ]
当期指定正味財産増減額	[ 169,144,267 ]	[ 89,247,341 ]	[ 79,896,926 ]
指定正味財産期首残高	[ 1,643,261,470 ]	[ 1,554,014,129 ]	[ 89,247,341 ]
指定正味財産期末残高	[ 1,812,405,737 ]	[ 1,643,261,470 ]	[ 169,144,267 ]
III 正味財産期末残高	[ 2,163,795,822 ]	[ 2,007,408,461 ]	[ 156,387,361 ]

## 肉用牛合同研修会の開催

令和6年3月6日（水）群馬県農協ビル大ホールにて、令和5年度肉用牛合同研修会を開催しました。（共催：家畜改良事業団前橋種雄牛センター、全国農業協同組合連合会群馬県本部、群馬県 JA 肉牛肥育部連絡協議会、群馬県 JA 繁殖和牛部連絡協議会、群馬県和牛改良組合連絡協議会）

本研修会は、県内の和牛繁殖経営者、肥育経営者をはじめ畜産関係団体の担当者など、計136名と多くの方に参加いただきました。

研修会は2部構成で、第1部では、主催団体及び関係機関から以下の4点について情報提供されました。

- ① 第29回育種価評価成績について（群馬県畜産協会）
- ② 渋川家畜市場について（全農群馬県本部）
- ③ 肉用牛ゲノミック評価 Web 情報サービス「G-Eva」について（家畜改良事業団）
- ④ 肉牛関連県事業について（群馬県農政部畜産課）

第2部では、北海道酪農畜産協会 家畜改良部長である岸大輔氏に「第13回全国和牛能力共進会、北海道大会に向けて」という演題でご講演いただきました。

次回開催地という事で全共に向けて北海道の意気込みは熱く、様々な取組を行っています。中でも参考になったのは、各地域で和牛マスターという指導者を選抜、育成する事で地域全体の技術や士気を高めていることです。また、北海道らしさを表現するべく前軀や肋張りの発達したしっかりとした牛で優等賞1席を目指すとのことでした。

今年の研修会も参加者は熱心に聴いており、本県の出品対策にむけて大変参考になる、有意義な研修会になりました。



## 和牛登録員研修会の開催

令和5年12月22日（金）に、全農ぐんま渋川家畜市場において、和牛登録員研修会を開催しました。

午前中は座学を行い、和牛登録・登記事務に関する概要を説明しました。

午後は JA 北群渋川管内生産者の子牛と成牛をお借りして和牛の鼻紋採取や損徴の確認及び黒毛和種種牛審査標準に基づく審査実習を行い、最後に子牛検査票を実際に作成していただき、和牛子牛登記の一連の業務の研修について経験いただきました。

この研修会は、子牛登記検査員の資格取得の必須要件となっておりますので、登記検査員を目指す方は令和6年度も開催するので是非ご参加下さい。



和牛登録事務の研修風景



鼻紋採取の練習



牛の審査について説明

## 家畜防疫・衛生指導対策事業に係る農場 HACCP 研修会

令和6年1月15日（月）に、群馬県農協ビルにて、令和5年度家畜防疫・衛生指導対策事業に係る農場HACCP研修会を開催しました。

農場HACCP認証審査及び構築指導に従事しているNPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター理事の山下厚主任審査員を講師としてお招きし、「農場HACCP認証審査・構築指導を通じた課題と対応」という演題でご講演いただきました。

令和5年12月末時点における認証取得戸数では、千葉県が全国1位、本県は全国4位、農家戸数に対する取得率で見ると千葉県は全国2位、本県は全国8位でした。各県における農家戸数が異なるので単純に取得率だけで比較することはできませんが、取得戸数・取得率が上位の県では、構築指導に精力的な指導者や組織がいることが結果に表れているようです。畜種別では採卵鶏の取得率が高く、乳用牛は作業工程数が多いことがハードルとなり、またブロイラーは工程数が少ないものの取得が進まない現状とのことでした。

講演後は、本県における普及推進を図る上でのポイントについてやAW（アニマルウェルフェア）が農場HACCP認証基準上で規定されるかどうか、外国人実習生に対する教育訓練などについて、活発な質疑応答が行われました。



講習会の様子



## 野生獣衛生対策促進事業に係る講習会

令和6年3月7日（木）に、群馬県農協ビルにて野生獣衛生対策促進事業に係る講習会を開催しました。

講師には、兵庫県立大学 兼 兵庫県森林動物研究センターの栗山武夫先生をお招きし、「分布拡大するイノシシの被害の現状と対策—兵庫県の事例を交えて」という演題でご講演いただきました。

イノシシの基本的な生態について、例えば、繁殖スピード・成長スピードが早いことや歯が一生伸び続けること、視力が弱いことなど知っているようで知らなかったことがありました。イノシシによる被害対策については、地道な対応（捕獲と柵）が重要であること、柵は設置して完了ではなくメンテナンスすることが大事であることなど、地味ではあるが継続していくことが大切であるとのことでした。

音、光、忌避剤や獣型ロボット等使用した被害対策は、一時的に効果がみられるようですが、残念ながらイノシシはすぐに慣れてしまい長期的な対策にはならないそうです。

理想的な管理としては、①防護柵の設置（メンテナンスも）、②加害個体の捕獲、③周辺個体の捕獲これらの情報を集落で常に共有していくこととのことです。

また、豚熱（CSF）対策としての経口ワクチンの免疫付与効果について、兵庫県では県境ではなく養豚場周辺に散布することに切替えているなど大変興味深いお話がありました。

イノシシの生態をはじめ、幅広い情報を提供していただきました。



講師：栗山 武夫 氏



講習会の様子

## 馬飼養衛生管理技術地方講習会

令和6年1月31日（水）に、群馬県馬事公苑にて、県内馬飼養者および関係者を対象に、馬飼養衛生管理技術地方講習会を開催しました。



伊藤 瑛基 先生

この講習会は、馬の飼養衛生管理の普及啓発を図ることを目的に、毎年開催しています。

今年は、日本中央競馬会（JRA）馬事部防疫課防疫係長・伊藤瑛基氏を講師にお招きし、「馬の伝染病とその対策についておよび加齢を意識した飼養管理」についてご講演いただきました。

国内外における馬の伝染病の発生状況および感染症に関する知見を踏まえた、飼養衛生管理基準の改正に関する概要の説明、群馬県内の飼養者間で関心の高い高齢馬の飼養衛生管理についての説明等を通じて、防疫の重要性を再確認するとともに日常的な管理の注意点を学ぶことができました。

講演後は、馬へ給餌してはいけない食べ物はあるのかといった基礎的なものから、飼養衛生管理の遵守方法や高齢馬のクッシング症候群への治療方針の相談といった現場での対応に関するものまで、活発に質疑応答が行われました。

## 馬飼養衛生基礎技術実習

令和6年2月21日（水）に、群馬県馬事公苑にて、地域における馬飼養衛生管理技術の向上を図ることを目的に、馬飼養衛生基礎技術実習を開催しました。

獣医師をはじめ、34名が参加し、馬の初歩的な扱い方、検査を実施する場合の心得等について学びました。

最初に、令和5年9月26日～28日に鹿児島県で開催された馬飼養衛生管理特別対策事業臨床実習に参加された毒島美登里獣医師による伝達講習が行われました。



毒島 美登里 先生

次に行われた実習では、県内で馬の診療に従事されている金井正善獣医師、小林勝幸獣医師、永島進獣医師より、馬の「骨と脚」、「内臓」、「基本的な扱い」について指南していただきました。

飼養者における馬の日常管理の重要性とその際のポイント、獣医師における診察時の馬の取り扱い方や注意点等について指導が行われ、馬飼養衛生管理に関する幅広い技術向上が図られたと考えます。



実習の様子

講習会や実習の内容は、地域馬飼養衛生管理体制整備委員会を設置し、議論、検討しています。来年度以降も委員の皆様にご指導していただきながら、飼養者が必要としている情報を提供することが出来るよう、より一層の充実を図っていききたいと思います。

## 種豚登録研修会の開催について

令和6年1月19日（金）に群馬県農協ビル10階第2会議室において、一般社団法人日本養豚協会が主催し、群馬県養豚協会種豚生産者部会、国産純粋種豚改良協議会、公益社団法人群馬県畜産協会が共催する令和5年度群馬県種豚登録講習会が開催されました。

登録規程への理解を深めるとともに、種豚登録審査基準により統一した体型選抜を行う技術の習得・向上を目的とし、養豚関係者22名が出席しました。

講師は一般社団法人日本養豚協会の湯浅伸子氏、群馬県養豚協会の横室達弥常務が務め、前半の審査講習では、国内での豚の登録事業・豚改良について、実際の登録・証明事業の概要、豚の体型審査について学びました。後半の審査実習では、群馬県畜産試験場よりご提供いただいた動画を使用し、配布された審査基準に基づき豚の審査・選抜を行いました。

本研修を通して、選畜ポイントや血統管理の重要性を学び、種豚審査員の新規養成および資格保有者の審査技術の向上を図ることができました。



審査講習の様子



審査実習の様子



会場の様子

## 養豚基礎セミナーの開催について

令和6年2月29日（木）群馬県 JA ビル 10 階第 2 会議室にて、群馬県養豚協会と群馬県畜産協会の共同開催により養豚基礎セミナーを開催しました。

養豚生産者や JA 職員、飼料会社職員、県機関職員など48名が出席しました。

前半では、岐阜県畜産研究所 養豚部・養鶏研究部 主任専門研究員 吉岡豪氏より、「豚熱対策における経過と再開へ向けての取り組みについて」という演題でご講演いただきました。豚熱発生前および発生後の岐阜県における種豚改良・再造成についてご説明いただき、岐阜県畜産研究所が改良・育成した、高い強健性・生産性・肉質を持つデュロック種種豚「ポーノブラウン」についても紹介されました。

後半では、岐阜県畜産研究所 養豚部・養鶏研究部 主任研究員・獣医師 鈴木香澄氏より、「豚抗病性改良DNAマーカーの利用について」という演題でご講演いただきました。抗病性改良 DNA マーカーを導入した抗病性を持った種豚の開発について、また、分割授乳および里子交換による子豚飼養管理が豚熱の移行抗体獲得に与える影響について、ご説明いただきました。



吉岡豪氏



鈴木香澄氏



会場の様子

優良繁殖雌牛更新加速化事業

**更新奨励金**の支援を活用し、  
若い優良な和牛の導入に取り組みましょう。

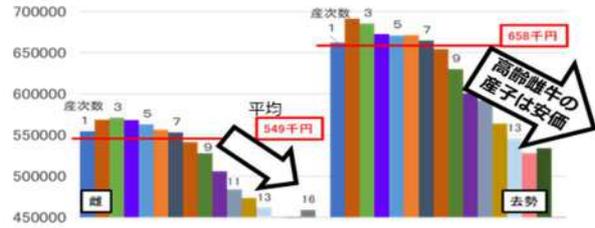
NEW!

なぜ更新が必要？

✓ 最近、特に高齡の繁殖雌牛から生産された子牛について、  
**低価格で取引される傾向**があります。



母牛産次別の子牛販売価格（最近の事例）



支援内容は？

✓ 畜産クラスター計画に基づき、高齡（10歳以上）の繁殖雌牛から、優良な**繁殖雌牛**に更新する場合、実績に応じて**奨励金を交付**します。

	優良な繁殖雌牛	希少な父牛に由来する繁殖雌牛※
奨励金の単価	<b>10万円/頭</b>	<b>15万円/頭</b>

支援を受けるには？（主な条件や留意点）

- ★ 期間内（令和6年1月1日～12月31日）に導入・保留した、優良な繁殖雌牛が対象です。
- ★ 9ヶ月齢以上（期末）、14か月齢未満（導入時）の月齢要件があります。
- ★ 同じ期間内に、10歳以上の繁殖雌牛を出荷する必要があります。
- ★ 1生産者あたり25頭までが奨励金の上限です。
- ★ 繁殖雌牛の平均月齢の5%以上の減少など、3年後に目指す成果目標を設定していただきます。

地方競馬ミルクウィーク2024の開催について

令和6年3月14～20日に、「地方競馬ミルクウィーク2024」が開催されました。

国内の生乳消費の落ち込みが予想される年度末において、地方競馬への注目が高まる開催期間に、牛乳・乳製品の消費拡大をPRするため、昨年度に続き、全国の地方競馬場で、地域の牛乳・乳製品の配布や酪農を応援する冠レースを実施しました。

この取組は、全国15カ所の地方競馬場を、8ブロックに分けて全国の馬事畜産振興協議会（事務局：各県畜産協会）が協力することで実施されました。

本会は、3月20日に関東ブロック大井競馬場（東京都）の来場者に、飲むヨーグルト等計2,000本（うち本県産乳製品300本）の配布を行いました。

7日間という短い期間に、全国で約13,500名の方に牛乳・乳製品の無償配布を行うことができ、本会としても地方競馬と一体となった牛乳・乳製品の消費拡大活動を通じて酪農・畜産振興に貢献することができました。



大井競馬場（東京都）



牛乳・乳製品消費拡大のPR活動

## 第50回 群馬県ブラックアンドホワイトショウ

令和6年3月27日（水）に、全農ぐんま渋川家畜市場において、群馬県乳牛改良協会主催による、第50回群馬県ブラックアンドホワイトショウが開催されました。

審査委員は小原潤哉氏（北海道 酪農家）に務めていただき、審査基準に基づいて審査が行われました。出品頭数は64頭（未経産牛26頭、経産牛38頭）で、最高位賞は8部リム<sup>®</sup> クト ライーズ ハソツク（三輪圭吾氏所有）でした。

なお、上位牛26頭については、令和6年4月26日（金）・27日（土）に、静岡県「御殿場市馬術・スポーツセンター」にて開催される「2024 セントラルジャパンホルスタインショウ」に出品する予定です。

上位の結果は下記のとおりです。

### 最高位賞

リム <sup>®</sup> クト ライーズ ハソツク	三輪 圭吾
------------------------------	-------

### 準最高位賞

ラブ <sup>®</sup> リーフーム クインズ スト <sup>®</sup> アマン	(株)長坂牧場
--	---------

### グランドチャンピオン

ジュニア	リム <sup>®</sup> クト ライーズ ラツユ	三輪 圭吾
インターミディエイト	リム <sup>®</sup> クト ライーズ ハソツク	三輪 圭吾
シニア	ラブ <sup>®</sup> リーフーム アルクジ ヲビ - アリツア	(株)長坂牧場

### リザーブグランドチャンピオン

ジュニア	アカ チューブ ライト L アリウフ <sup>®</sup> エア	県立吾妻中央高校
インターミディエイト	ラブ <sup>®</sup> リーフーム クインズ スト <sup>®</sup> アマン	(株)長坂牧場
シニア	ロンテアド アマン キリアス ET	(同)石原牧場



## 養豚現場研修報告（酪農中小家畜担当 遠藤さくら）

この度、種豚登録業務担当者として令和6年3月4日（月）～8日（金）の5日間、県内養豚農場にて座学講習と現場実習を行いました。

座学講習では、農場の概要、養豚の基礎知識、飼養管理、経営管理などを学びました。

実習では主に繁殖農場での作業を行い、子豚の管理（給餌、耳刻、断尾、経口薬投与、鉄剤注射、去勢等）、母豚の管理（給餌、清掃、再発確認、エコーや直腸検査による妊娠鑑定等）を実施しました。

現場研修を通じて、農場内での豚の動きを学び、各ステージでの管理を実際に経験したことで、豚がどのように生産されているかを理解することができました。また、農場内で個体管理を徹底することは、繁殖・肥育成績を整理することができ、母豚の改良に繋がるとともに、トレーサビリティを可能にすると実感しました。

種豚登録は登録豚の血縁関係や能力、遺伝的特質等を記録し、保存・利用することで豚の改良に繋げるものであるため、今回の現場研修で学んだことを生かし、自身の担当業務を円滑に実施できるよう努めてまいります。



エコーによる妊娠鑑定



離乳舎の子豚

**令和6年4月1日より死亡牛のBSE検査の対象が変更になります**

**全ての月齢において、「死亡前にBSEの特定症状があった牛」「死亡前に起立不能や歩行困難等のBSEを疑う症状があった牛」が検査の対象となります**

	令和5年度まで	令和6年度以降
特定症状牛	全月齢の死亡牛	全月齢の死亡牛
起立不能、歩行困難牛	48か月齢以上の死亡牛	全月齢のBSEが否定できない症状を呈する死亡牛
一般的な死亡牛	96か月齢以上の死亡牛	検査対象外

検査対象となる死亡牛について十分ご理解いただき、検査漏れがないよう、死亡牛の適正な処理をお願いします



**BSE検査対象牛は「死亡牛処理整理票」の添付が必要です！**

- ・死亡牛処理整理票を添付して「群馬県家畜衛生研究所」へ搬入してください。
- ・死亡牛処理整理票は無料で配付しています。  
群馬県畜産協会、家畜保健衛生所、家畜衛生研究所、JAへお問い合わせください。
- ・BSE検査料および検査促進費、検体提供費の補助があります。



**BSE検査対象外の死亡牛は産業廃棄物となりますので「産業廃棄物管理票（マニフェスト）」の添付が必要です！**

- ・産業廃棄物管理票（マニフェスト）を添付せずに（株）群馬県化成産業に搬入される事例があります。マニフェストの未交付は廃棄物処理法違反として罰則の対象となりますので必ずマニフェストを添付してください。
- ・マニフェストは一般産業廃棄物用のマニフェストでもかまいませんが、記入が簡単な牛・豚の死体の処理に限り使用できるマニフェスト（畜産用）を群馬県畜産協会にて販売しています。

**マニフェスト（畜産用）の購入方法（1冊750円（税込）3枚複写×30部）**

下記の手順で、購入申込書にて群馬県畜産協会へお申し込みください。

- 1 下記の間合せ先に連絡します。
- 2 お名前とFAX番号を確認後、畜産協会から「購入申込書」をFAX送信します。
- 3 届いた「購入申込書」に必要事項を記入し、畜産協会へFAXで返送します。
- 4 FAX確認後、代引きゆうパックにて郵送します。
- 5 配達員にマニフェスト代と代引手数料290円をお支払いください。

※金融機関への振込による支払いも可能ですので、ご希望の場合はお申し付けください。  
請求書を送付いたしますので、後日、振込をお願いします。なお、振込手数料は購入者のご負担となります。

※お急ぎの場合は、下記の間合せ先に連絡後、畜産協会へ直接お越しください。

**<お問合せ先>**

公益社団法人群馬県畜産協会  
電話：027-220-2371 FAX：027-220-2372

### 価格安定事業発動状況

#### ■肉用子牛生産者補給金制度 補給金交付状況 (令和5年度1月~12月)

業対	年次	月次	期別	平均売買価格(円)					交付単価(円)					交付額(円)					
				黒毛	褐毛	他肉	乳用	交雑	黒毛	褐毛	他肉	乳用	交雑	黒毛	褐毛	他肉	乳用	交雑	
7	5	1 ~ 3	第4四半期	613,600	523,500	252,300	148,100	308,200	-	-	67,630	15,900	-	-	-	-	-	540,600	-
		4 ~ 6	第1四半期	586,800	534,000	-	170,200	304,200	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		7 ~ 9	第2四半期	521,600	553,000	-	196,900	299,600	34,400	-	-	-	-	23,288,800	-	-	-	-	-
		10 ~ 12	第3四半期	522,500	574,500	-	182,900	326,600	33,500	-	-	-	-	25,426,500	-	-	-	-	-
計				※他肉(その他肉専用種)はR2年度より算定期間が1年(4月~3月)となりました。															

#### ■肉用牛肥育経営安定交付金制度 (牛マルキン) 交付金交付状況 (令和5年12期)

期間	品種区分	支払区分	交付対象		交付金の額			交付日
			人数(人)	頭数(頭)	(円)(4/4)	交付金として支払う額(3/4)	積立金から支払われる額(1/4)	
12月期	肉専用種	概算払	87	1,249	0			精算払日 令和6年 2月27日
		精算払			56,040,843	42,030,603	14,010,240	
		計			0			
	交雑種	概算払	0	0	0			
		精算払			0			
		計			0			
	乳用種	概算払	3	13	0			
		精算払			87,526	65,643	21,883	
		計			0			
	小計	概算払	90	1,262	0	0	0	
		精算払			56,128,369	42,096,246	14,032,123	
		計			56,128,369	42,096,246	14,032,123	

#### ■肉用豚経営安定交付金制度 (豚マルキン)

算出期間	令和5年4月から12月まで
肉豚1頭当たりの標準的販売価格	43,703 円/頭
肉豚1頭当たりの標準的生産費	42,178 円/頭
肉豚1頭当たりの交付金単価	—

### 市況

#### ■和牛子牛市場成績【JA全農ぐんま渋川家畜市場】

開催月	性別	取引頭数	高値(円)	安値(円)	平均価格(円)	平均体重(kg)	平均日齢(日)	Kg単価(円)
3	雌	120	793,100	13,200	505,699	299	292	1,690
	雄							
	去勢	152	950,400	228,800	684,207	330	285	2,073
	合計	272	950,400	13,200	604,491	316	288	1,911

#### ■乳用牛市場成績

開催月	畜種区分	授精区分	腹子品種	頭数(頭)	平均体重(kg)	平均価格(円)
2	未経産			14	335	328,071
				3	581	528,000
	初妊	AI	ホルス	45	554	553,333
		ET	交雑種	26	532	675,846
	経産			11	628	386,182
		AI	ホルス	5	668	348,000
			交雑種	17	790	315,529
		IVF	IVF	1	773	431,000
	合計			122	571	495,344

#### ■前橋家畜市場取引結果【群馬県家畜商商業協同組合】 開催日 令和6年2月1日~2月29日

品種	区分	性別	売買頭数	最高値(円)	最低値(円)	平均(円)	平均体重(kg)
和牛	子牛	メス	238	614,900	61,600	309,373	151
		オス	289	834,900	55,000	418,152	169
	スモール	メス	1	222,200	222,200	222,200	97
		オス	1	320,100	320,100	320,100	102
交雑種	子牛	メス	31	378,400	44,000	222,306	233
		オス	15	202,400	44,000	130,240	131
	スモール	メス	740	466,400	1,100	104,542	88
		オス	807	243,100	2,640	128,250	94
乳牛	子牛	メス					
		オス	2	12,870	11,110	11,990	85
	スモール	メス	8	168,300	550	44,344	68
		オス	235	129,800	1,100	65,990	77



# みんなで行こう！ケイバ！南関東4競馬場開催日程

## 地方競馬の収益金は畜産の振興に役立っています

詳しくは南関東4競馬場サイト：<http://www.nankankeiba.com/index.html> をご覧ください

### ◆BAOO高崎

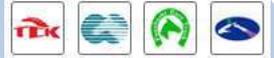
群馬県高崎市岩押町 12-16  
お問合せ：027-322-5192



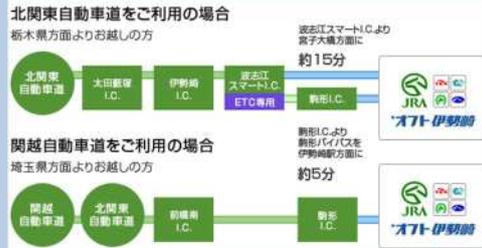
ロイヤル席  
個別モニター付き特別  
観覧席で快適な一日を  
お過ごしいただけます

### ◆オフト伊勢崎

群馬県伊勢崎市宮子町 3074  
伊勢崎オートレース場  
グリーンスタンド4階  
お問合せ：0270-23-0535



平日、大井、川崎、  
船橋、浦和の馬券が  
購入できます



### 【開催日程】

2024年4月																														
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
川崎	川崎	川崎	川崎	川崎			大井	大井	大井	船橋	船橋	船橋	船橋	浦和	浦和	浦和	浦和	浦和			大井	大井	大井	大井	大井			船橋	船橋	
ⓈⅢ	UpnⅠ							ⓈⅢ	UpnⅡ								ⓈⅢ						UpnⅠ	ⓈⅠ						
										大井	大井																			
					</																									